

IND-4503-2412

ハイサーム

装置の加熱用熱媒体油

ハイサームは、高度に溶剤精製された鉱油を基油に使用した熱媒体油です。ハイサームは、高温酸化安定性に優れているので、長時間の使用においてもスラッジの生成が抑えられます。これにより、装置のメンテナンスを軽減し、運用効率を高めます。また化学安定性に優れ、非腐食性のため、装置材料の選定において特別な制限がありません。様々な設備に安心してご利用いただけます。

また、以下の間接加熱法の特長を十分に発揮できます。

- (i) 低圧にして高温が得られる。
- (ii) 局部加熱を防ぎ均一加熱ができる。
- (iii) 温度、伝熱量の制御が自由で精密である。
- (iv) 急熱、急冷操作が可能である。

●特長

1. 熱安定性、酸化安定性が優れている

循環使用される熱媒体油には熱分解安定性と高温酸化安定性が強く求められます。これらの性能が低いとカーボンやスラッジが生成され管壁などに付着すると、熱媒体油の熱伝導率が低下するとともに循環不良を起こします。

ハイサームは、熱・酸化劣化を起こしやすい成分を高度な溶剤精製工程で除去した上に特殊添加剤を配合したものです。このため、高温で長時間使用してもスラッジの生成が少なく、装置の円滑な運転が可能で保守管理が容易となります。

2. 揮発性・蒸気圧が低く、引火点が高い

ハイサームは、蒸発損失が少なく、また蒸気圧も低いので、循環系統の蒸気閉塞や、ポンプのキャビテーションを防ぎます。

3. 低温流動性が良く、粘度変化が少ない

ハイサームは、流動点が低く低温流動性に優れているため装置始動時のポンプ作動不良や局部過熱を防ぎます。また粘度指数が高いため、温度変化による粘度の変動が少なく、安定した流動性を維持します。

4. 毒性、臭気がない

ハイサームは、石油炭化水素系であるため安全性が高く、特有な臭気がありません。

5. 加熱効率が良い

ハイサームは、比熱、熱伝導度が高く、単位量当たり授受できる熱量が大きく経済的です。

●使用上の注意事項

空気に直接触れる環境では使用できません。密閉型間接加熱システム内の空気を窒素などの不活性ガスでパージした後に使用してください。また、油温が260℃を超えないようご注意ください。

●種類

ハイサームには32、68の粘度の異なる2種類をそろえてあります。数字は40℃における動粘度(mm²/s)を表しています。

●荷姿

200lドラム、20l缶

●用途

- (1) ゴムおよびプラスチックの成形、加硫、カレンダー処理。
- (2) アスファルトプラント、および燃料タンクの加熱。
- (3) タイル、リノリウム、紙製品ルーフィング材含浸、はり合わせ、接着、乾燥。
- (4) 木材、合板、ベニアの乾燥、はり合わせ。
- (5) 染料、油脂工業、化学薬品、ワニス、樹脂、その他化学工業などでの合成。
- (6) 電線および電気部品、機械部品の塗装、絶縁、接着、乾燥。
- (7) 印刷でのロール加熱
- (8) パネルヒータ
- (9) その他

●ハイサームの代表性状

種類	32	68
色 (ASTM)	L1.0	L1.0
密度(15℃) g/cm ³	0.875	0.881
動粘度(40℃) mm ² /s	32.8	68.0
動粘度(100℃) mm ² /s	5.49	8.78
粘度指数	103	101
引火点 ℃	222	242
流動点 ℃	-12.5	-12.5
酸価 mgKOH/g	0.01	0.01
銅板腐食(100℃, 3h)	1	1
消防法危険物分類	第4石油類	

※代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変わる場合があります。(2024年12月)



取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

成分：	潤滑油基油、潤滑油添加剤
GHSラベル要素	
絵表示：	なし
注意喚起語：	なし
危険有害性情報：	なし
注意書き：安全対策	<ul style="list-style-type: none">• 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。• 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。• 眼に入れないこと。飲み込まないこと。• 取り扱い後はよく手を洗うこと。• この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	<ul style="list-style-type: none">• 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。• 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。• 眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。• 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
保管	<ul style="list-style-type: none">• 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。• 一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。
廃棄	<ul style="list-style-type: none">• 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。• 不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。